

協働パイロット事業 (H28) 企画提案書

団体名：静岡市子ども食堂ネットワーク

1 事業の名称

地域の子育て、みんなで作る「子ども食堂」

2 事業の概要 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください)

子ども食堂とは、貧困で毎日3度の食事のままならないご家庭や、ひとり親や共働きで子どもが1人で食事をしなければならないご家庭など、様々な事情の中で育つ子ども達に無料で食事を提供する場所で、東京都を中心として始まり、現在全国に広がっている支援活動です。

しかし、近年では地域の大人たちのコミュニケーションの場所としての需要が高まり、子育てにおわれて地域で孤立しがちなお母さん達や、子ども達と一緒に食事をしたい高齢者が集まり、地域の活性化に役立っています。

核家族が増え、若い子育て世代の家族と、地域との間にも溝が深まる中、「子ども食堂」を通じて3世代が集まり交流し、地域住民が繋がる場所として「子ども食堂」を活用すると共に、学校・企業・行政も巻き込み、地域社会全体で子ども達を見守ることのできる体制作りに貢献します。

貧困や家庭問題に特化しない「子ども食堂」を運営する大きな利点は、生活困窮世帯である事が同年代の子ども達や、近隣住民に気付かれることなく食事の提供を受けられるという事にあります。

あえて格差を宣伝するような運営ではなく、“子育て支援”として取り組む「子ども食堂」を静岡市から広げていきたいと考えます。

ですが、生活困窮世帯やひとり親家庭への生活支援という側面も重要であり、貧困だけでなく様々な家庭問題で「子ども食堂」という場所を本当に必要とするご家庭に、「子ども食堂」の情報が直接届くように、生活困窮世帯やひとり親家庭などの情報を把握している行政の協力が必要不可欠であると考えます。

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

静岡市子ども食堂ネットワークの役割

- ◎各学区で運営する子ども食堂の問題や悩みのサポートやフォロー告知の方法や食材や資金の確保
- ◎定期的な運営を続けていく為の食材・運営費の支給←寄付・支援・助成を募る
- ◎食中毒防止のための衛生指導の徹底や保険への加入←保健所への報告連絡相談
- ※静岡市子ども食堂ネットワークに連携、加盟する子ども食堂は、必ず保健所に相談。開催報告、必要資料の提出を行う。
- ◎各行政機関とのやりとりや、要望を伝える窓口として←家庭、児童相談窓口への連絡、相談等
- ◎企業、民間、団体への協力依頼←常時告知募集 PR
- ◎ボランティアの募集←ボランティア協会、学生、一般募集、ネット

静岡市に協力して頂きたい役割

- 地域総務課…各学区に一つ子ども食堂を運営していくには自治会の受け入れが重要ですが、自治会役員の高齢化に伴い、子ども食堂に対し理解を得るに苦労している現状です。静岡市から各自治会に協力要請や子ども食堂について理解が得られるように声掛けをして頂けると、現場で子ども食堂を運営する地元のボランティアさんが活動しやすくなります。
- 子ども未来局（子ども未来課・子ども家庭課・青少年育成課・こども園課・児童相談所）…こども園や母子家庭、その他ひきこもりなど問題を抱えたご家庭への子ども食堂開催案内の配布。子育て支援団体への連携協力依頼。子ども達に虐待や育児放棄などの問題が見つかった際の相談窓口として。子ども食堂を広い意味で子育て支援活動としての取り組みであると周知して頂くためにも、子ども未来局との協働事業となることはとても重要な意味があります。
- 健康づくり推進課…食育応援団による子ども食堂のサポート。子ども達に栄養満点の食事を提供する為の協力。
- 教育局…静岡市内小学校への子ども食堂開催案内配布要請、協力

団体名：静岡市子ども食堂ネットワーク

4 事業計画・実施スケジュール

2016年度中に、市内3カ所以上の小学校区で子ども食堂を開催。

①竜南小学校区「ひまわり子ども食堂」

2016年4月20日(水)第一回開催

以降5月13日(金)／6月10日(金)／7月8日(金)／8月26日(金)

月1回ペースで開催

②麻機小学校区「麻機子ども食堂」

2016年6月開催予定。現在開催準備中。

③足久保小学校区「足久保子ども食堂」

2016年7月開催を目指して自治会や地元ボランティアと交渉準備中

随時、開催可能な地域に呼びかけをしていく

※順次静岡市内に開催予定

団体名：静岡市子ども食堂ネットワーク

5 実施体制及び主要スタッフの経歴

静岡市子ども食堂ネットワーク会員

- ・代表 飯沼直樹（一般社団法人バンビワゴン ad+vent 代表理事 実績3年）
- ・八木忍…食品衛生責任者（一般社団法人バンビワゴン ad+vent）
- ・齋藤朋美…管理栄養士（特別支援学校勤務）
- ・宮下綾子（民生委員）
- ・高橋一人（ふじみ歯ならびクリニック 院長）
- ・橋口冬樹（パソコンスクールアオゾララボ代表）
- ・青山妙月（日本知育モールドアート協会認定講師）
- ・加藤直弘（千代田タクシー副社長）
- ・森純世（個人）

ひまわり子ども食堂運営メンバー

- ・松山和子
- ・小倉百代
- ・福地恵
- ・宮圭子
- ・上野山弘美

協賛企業

- ・株式会社タカラ・エムシー フードマーケットマム
- ・株式会社季咲亭
- ・千代田タクシー株式会社

学校協力

- ・学校法人中村学園静岡福祉医療専門学校…学生ボランティア派遣
- ・竜南小学校…子ども食堂案内配布

6 特にアピールしたいこと (専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など)

- ・子ども食堂を子育て支援活動として運営していく事で、子どもを見守る・地域全体で子ども達を育てる社会作りを目指す。
- ・経済格差による学力の差を補うために、無料学習支援も一緒に行い、子ども達の宿題や勉強でわからないところを教えながら、ただ食事をしてお喋りするだけではない、お母さん達も喜んで通わせられる子ども食堂にする。
- ・地域に一つ子ども食堂を運営するのではなく、静岡市内の各学区内で運営する子ども食堂を統括する事で、子ども食堂同士の繋がりを持たせたり、運営サポートをする事で、継続して運営できるシステム作りを先駆けて行う。

現場での各子ども食堂の運営を統括サポート、フォローする存在として、ネットワーク化は必要不可欠だと思います。地域の住民の方や、保護者、グループ、企業が安心して子ども食堂の活動に専念できるよう、情報や食材、連携、協働、協賛、助成、といった様々な活動を子ども食堂ネットワークとして進めていきたいと思っています。

協働して頂ける2年間は、定期的で開催する子ども食堂が地域に根付き、先行した子ども食堂の活動に共感した各エリアにも順次子ども食堂が広がっていく期間だと考えます。

3年目以降は、静岡市子ども食堂ネットワークを通じた様々な活動(食育・無料学習支援など)のネットワークとしても活躍できると思います

・他市の子ども食堂を運営したい団体組織との交流実績

4月11日(月) 牧之原市子育て支援団体、御前崎市社会福祉協議会、子ども園園長が集まり、静岡市子ども食堂ネットワークについての説明と、子ども食堂についての意見交換会を実施しました。

7月30日(土) 御前崎市社会福祉協議会ボランティア団体連絡会30名の研修会開催

子ども食堂に興味のある御前崎市のボランティア連絡会の担当者より、先駆的に活動している子ども食堂として、研修の依頼があり、説明会を行うことになりました。

(様式3)

協働パイロット事業 (H28) 見積書

団体名：静岡市子ども食堂ネットワーク

企画のタイトル：地域の子育て、みんなで作る「子ども食堂」

項目	金額	説明
食材費(月2回の開催×1年)	5,000×24 =120,000	1つの子ども食堂定員20名として、1食250円までを予算と定め計算。
消耗品費 (月2回の開催×1年)	600×24 =14,400	マスク・手指消毒用アルコール・紙コップ・ゴム手袋・キッチンペーパーなど
会場費(月2回の開催×1年)	2,000×24 =48,000	子ども食堂開催のために借りる会場費 会場により増減
広告費(月2回の開催×1年)	3,000×24 =72,000	子ども食堂学区内の小学校全世帯に配布
保険料(満期1年)	25,500 5,000	施設入場に関わる普通傷害保険 生産物賠償責任保険 あいおいニッセイ同和損保にて加入
小計 A	284,900	
消費税 B=A×0.08	22,792	
合計 A+B	307,692	

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な使途
協賛金 (H28年度) 1食300円(大人)	25万円 参加人数で変動	子ども食堂運営費 (場所・食材・保険・広告)